

多職種で取り組む“口から食べる”ための支援〈第3弾〉

在宅療養でのQOLにおいて、食の楽しみは非常に重要です。昨年度より緑区では「安心して食を楽しめる！」を目標に、食支援に重点を置いた研修会を行っています。

昨年の第1弾・第2弾に続き第3弾の今回は、昨年のアンケートの中から実践における“困りごと”に着目し、講義と緑区内の事例の検討（事例検討）により、身近な多職種とどう連携するかを学びます。目の前の患者さんが「食べたいと思えるように、食べることが可能になるように準備し、時にそれを手伝える。そして常に「食べたい(あるいはもしかして食べたくない)」という心に寄り添う」ために共にできることは…？

現場に生かせる身近な内容となっております。ぜひご参加ください。

◎日時 令和元年 12月 1日 (日)
13:30~17:00 (開場 13:00)

◎場所 名古屋市徳重地区会館4階 体育室
(緑区元徳重1丁目401・ユメリア徳重施設内)

◎対象者 緑区及び近隣で医療・介護連携に携わる多職種
・ 80名 (参加無料・事前申込制先着順)
定員 ※定員超過の場合、見学でご参加いただけます。



※ 日本医師会生涯教育制度の単位が取得できます。(申請予定)

CC: 13 医療と介護および福祉の連携 / 22 体重減少・るい瘦 / 80 在宅医療

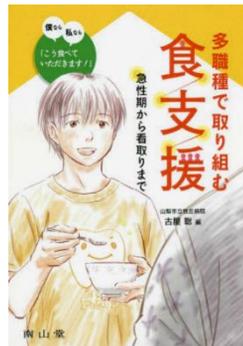
※ 本研修は、主任介護支援専門員更新研修の個別要件②に該当します。(申請予定)

プログラム

1. 講義
「身近な多職種連携の
取り組みの実際」
2. グループワーク
事例検討
3. フリートーク

講師紹介

山梨市立牧丘病院 院長
古屋 聡 先生



著書

『多職種で取り組む食支援
急性期から看取りまで
僕なら私なら「こう食べていただきます!』
南山堂, 2017



参加希望者は 11月 22日 (金) までに裏面の参加申込書をFAXにてお送りください。

主催：名古屋市緑区医師会、緑区はち丸在宅支援センター、
緑区地域包括ケア推進会議 在宅医療・介護連携部会

共催：名古屋市緑区歯科医師会、緑区栄養士連絡会、
名古屋市緑区リハビリテーションネットワーク



送信先：緑区はち丸在宅支援センター

FAX：052-896-0876

参加申込書

令和元年度 緑区多職種連携研修会

多職種で取り組む“口から食べる”ための支援〈第3弾〉

日時：令和元年12月1日（日）13：30～（開場 13：00）

場所：名古屋市徳重地区会館4階 体育室

※当日は、支所の日曜窓口（開庁日）と重なります。駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

定員：80名（参加無料・事前申込制）

※定員超過の場合、見学でご参加いただけます。

グループワークは区内勤務の方を優先とさせていただきます。

◆申込締切：令和元年11月22日（金）まで

所属施設名	緑区外の方は以下をご記入ください (所在地： 区・市)
連絡先	TEL
	FAX
ふりがな	
氏名	
現在の職種 (該当するものに○をつけてください)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 看護師 6. 歯科衛生士 7. 理学療法士 8. 作業療法士 9. 言語聴覚士 10. 管理栄養士 11. 栄養士 12. 主任介護支援専門員 13. 介護支援専門員 14. 社会福祉士 15. 医療ソーシャルワーカー 16. 相談員 17. 介護福祉士 18. 介護職員 19. 福祉用具貸与販売関係 20. その他 ()

※お申し込みが定員に達した場合は、

緑区はち丸在宅支援センターホームページにてお知らせいたします。

URL <http://zaitakukaigo.nagoya/news-report>

